

Scope1, 2, 3 排出量 (2024年度) ※1

カテゴリ		排出量(t-CO2)	計算方法	備考
Scope1 (事業活動からの直接的な温室効果ガス排出)		—	—	
Scope2 (事業活動でのエネルギー使用による間接的な温室効果ガス排出)		0.64030	—	電気は調整後排出係数を使用。東京支店はビル全体の電気使用量・延床面積に対して、弊社分の延床面積で割戻し推計
Scope1+2 計		0.64030	—	
Scope3 (事業活動範囲外での間接的な温室効果ガス排出)	1. 購入した製品・サービス	4.12534	(自社が購入・取得した製品またはサービスの物量・金額データ) × (排出原単位)	
	2. 資本財	—	—	
	3. Scope1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	0.10409	(自社が購入したエネルギーの物量・金額データ) × (排出原単位)	
	4. 輸送、配送 (上流)	—	—	
	5. 事業から出る廃棄物	0.09197	(廃棄物種類・処理方法別の廃棄物処理・リサイクル量) × (廃棄物種類・処理方法別の排出原単位) および Σ { (廃棄物処理・リサイクル委託費用(量)) × (廃棄物種類毎の標準的なシナリオに基づく排出原単位) }	コワーキングオフィスがまとめて廃棄を行うため、 廃棄物量については弊社1人当たりの排出量を仮定し概算で算出
	6. 出張	3.02012	(移動手段別) Σ { (交通費支給額) × (排出原単位) }	
	7. 従業員の通勤	1.14408	(移動手段別) Σ { (交通費支給額) × (排出原単位) } および (勤務形態・都市階級別) Σ { (従業員数) × (営業日数) × (排出原単位) }	組織変更に伴い組織人数の大幅な変更があったため、 組織変更後の人数にて年間の出社回数を推計し算出
	8. リース資産 (上流)	—	—	
	9. 輸送、配送 (下流)	—	—	
	10. 販売した製品の加工	—	—	
	11. 販売した製品の使用	—	—	
	12. 販売した製品の廃棄	—	—	
	13. リース資産 (下流)	—	—	
	14. フランチャイズ	—	—	
	15. 投資	—	—	
Scope3 計		8.48561	—	
Scope1+2+3 計		9.12591	—	
※1: 「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」 (環境省/経済産業省) に基づきサプライチェーン全体の温室効果ガスの排出量を算定。				